

能登地震「医療連携も重要」

清水赤十字病院の医師ら講演



講演する
薬剤師の
高橋さん

ープラザで開
かれ、約70人

が参加した。

【清水】2024赤十字
フェスティバル(清水赤十
字病院主催)が5月24、25
の両日、清水町内で開かれ
た。24日は公開講座「地震
と共に生きる」能登半島地
震から学ぶ災害救護と地域
での備え」が町ハーモニ

能登半島地震で被害が大
きかった石川県珠洲市に救
護班として派遣された、い
ずれも同病院の総合診療科
医師山田圭吾さん、薬剤師
高橋秀徳さん、臨床工学技
士成田圭亮さんと、コーデ

ィネーターとして同県に派
遣された藤城貴教院長がそ
れぞれ講演した。

このうち、高橋さんは能
登半島での救護活動で重要
だったのは医薬品の在庫管
理や他団体・ほかの医療チ
ームとの連携であるとし、
「地域の病院や診療所、保
険薬局との連携も重要にな
ってくる。こういった連携
があるからこそ、傷病者や
患者さんに医療を提供でき
る」と語った。

新得町から参加した、障
害者支援施設勤務の50代男
性は「こういう機会がない
と災害に対する見直しがで
きないと思うので、今後ど
のように対応していくか考

えていきたい」と話してい
た。

25日は同病院で薬の分包
機体験や体力測定、縁日、

町赤十字奉仕団による炊き
出し訓練などが行われ、親
子連れなどが来場した。

(那須野唯通信員)